

ほんめん こうか そくてい
本免効果測定2

1. 高速道路を走行中、危険防止のため一時停止をした。
2. 明るさの加減によって、視力が変化することはない。
3. 道路工事の区域から5メートル以内の場所は、駐車も停車も禁止されている。
4. 自動車を所有する場合、自動車損害賠償責任保険（もしくは責任共済）への加入は任意である。
5. 二輪車でカーブを走行中にブレーキをかけることは危険である。
6. 図1の標識は、「駐車禁止」を表している。
7. 長い下り坂では、フットブレーキを使い、必要に応じてサイドブレーキを使うようにする。
8. 標識や標示によって路線バスなどの優先通行帯が指定されている道路を走行中に、路線バスなどが近づいてきたため、速やかに道を譲った。
9. 二輪車のエンジンブレーキは、低速ギアになるほど制動力が大きくなる。
10. 自転車のそばを通るときは、歩行者のそばを通るときと同様に、十分な距離を空けたり徐行をするなど、安全に配慮する。
11. 曲がり角やカーブでは、対向車が道路の中央からはみ出してくる可能性があるため、十分注意する。
12. 踏切を前車に続いて通過するときでも、踏切の直前で一時停止をして、安全確認を行う。
13. 高速自動車国道の本線車道を走行中の普通自動車の最高速度は、時速80kmである。
14. 道路に面した場所に入ったりするため、歩道や路側帯を横切るときには、安全を確認して徐行して進まなければならない。
15. 雨の日は泥や水をはねて歩行者にかかる恐れがあるので、歩行者の近くを通る場合は速度を落として通過する。
16. 駐停車の際、路側帯の幅が広い場合には、路側帯の中に入って駐停車できるが、その場合は0.5メートル以上の余地を空けなければならない。
17. 自動二輪車や原動機付自転車に乗るときは、必ず乗車用ヘルメットを着用しなければならない。
18. 図2の標識は、警音器を鳴らさなければいけない場所を示している。
19. 交差点で左折をする場合、あらかじめ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行しながら通行する。
20. 事故が発生した際、怪我が軽微であっても医師の診断を受けるべきだ。
21. 住所などの自動車の使用の本拠の地点から1キロメートル以内の、道路以外の場所に保管場所を確保しなければならない。
22. 運転中エンジンに異常を感じたときは、アイドリング状態で異音がないか点検する。
23. 交通事故において負傷者がいた場合、事故の統発の恐れがないのであれば、むやみに負傷者を動かさず、その場で応急救護処置を行う。
24. 雪道や凍結した道路を走行する場合、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどを装着する。
25. 図3の標識がある道路では、最大積載量が5.5トンを超える車は通行できない。
26. 霧のため前照灯を早めにつけ、前を走る車の尾灯を自安にして速度を落として運転した。
27. 赤色の灯火の点滅信号で、自動車は安全が確認できれば停止することなく通過することができる。
28. 急に進路変更が必要になったときは、安全確認をしなくてもよい。
29. 前の車が右折などのため、右側に進路を変えようとしている場合の追い越しは禁止されていない。
30. 車の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がなかったが、荷物の積み下ろしで運転者がすぐに運転できる状態だったので駐車をした。
31. 普通自動二輪車や大型自動二輪車は、80キログラムの重量の荷物を積んで運転できる。
32. 坂の頂上付近で、前の車を追い越した。
33. 火災報知機から3m以内の場所は、駐車禁止場所である。
34. オートマチック車の発進時、チェンジレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態で行う。
35. 免許の種類に係らず、運転するときには常に運転免許証を携帯する必要がある。
36. 図4の標識は、普通自転車が2台並進できることを示す標識である。
37. 高速道路を走行中にトンネルに入るときは、速度を落とさずにそのままの速度で入ることを心がける。
38. 高速道路とは、高速自動車国道と自動車専用道路を指す。
39. オートマチック車のエンジンを始動する前に、ブレーキペダルとアクセルペダルを目で見て確認する必要はない。
40. 環境負荷の軽減に配慮し、駐停車時はアイドリングストップを心がける。
41. 薄暮時であったが、周りの車が見えていたため、ライトを点灯しなかった。
42. 正面の信号が黄色の点滅をしているときは、注意して進むことができる。
43. 曲がり角では、クラッチを切って走行した方がよい。
44. 車が衝突したときの衝撃力は、速度の2倍になる。

図1



図2



図3



図4



45. 図5の標識は、この先通行止めになっていることを表している。
46. 歩行者用道路であっても、沿道に車庫を持つ車などは徐行せずに通行することができる。
47. 普通自動二輪車のブレーキには、前輪ブレーキ、後輪ブレーキ、エンジンブレーキの3種類がある。
48. 原動機付自転車の積載物の高さは、地上から1.5メートルまでである。
49. 座席でないと人の上に人を乗せたり、荷台や座席でないと荷物を積んではならない。
50. 停止距離とは、空走距離と制動距離を合わせたものをいう。
51. 見通しのよい道路で、左側の幅が6メートル未満だったので、追い越し禁止場所でないことを確認し、右側にはみ出して前の車を追い越した。
52. 運転をする際には、前方の一点を集中して見るのではなく、周辺の交通状況にも意識を向けておかなければならない。
53. 自動車の所有者は、強制保険に加入することが義務付けられているので、その他の保険に任意で加入する必要はない。
54. 原動機付自転車の荷台に荷物を載せる際、積載装置の幅から左右それぞれ0.15mを超えてはみ出してはいけない。
55. 手による合図は、夕日の反射などによって方向指示器が見えにくいようなときに必要であり、きちんと覚えておかなければならない。
56. 坂道では、上り坂の発進は難しいため、下りの車が必ず道を譲らなければならない。
57. ブレーキペダルを踏み込んだとき、床板とペダルとの間に隙間がなくなる状態が適切な状態である。
58. トラックの荷台は人を乗せるところではないので、いかなる場合であっても荷台に人を乗せて運転することはできない。
59. 20歳以上で、かつ普通自動二輪の免許を受けて3年を経過している場合は、高速道路で二人乗りすることができる。
60. 総排気量125ccを超える普通自動二輪車は、高速道路を通行することができる。
61. 自動車が交差点を右折する場合は、あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行しながら右折する。(一方通行を除く。)
62. 徐行とは、車がすぐに停止できる速度で進行することをいう。
63. タイヤの日常点検は、磨耗状態をスリップ・サインで確認すれば十分である。
64. 信号機のある交差点で、停止線や横断歩道・自転車横断帯のない時の停止位置は、交差点の直前である。
65. 路線バス専用通行帯は、指定時間外であっても、その他の自動車は通行することができない。
66. 車の内輪差は、大型車よりも小型車の方が大きくなる。
67. 駐車場、車庫などの出入り口から5m以内の場所では駐車をしてはいけない。
68. 踏切を通過するときは、その直前(停止線があるときは停止線の直前)で一時的に停止をし、安全を確認しなければならない。
69. 故障車をロープなどでけん引する場合、けん引する車と故障車の間隔は5メートル以内に保つ。
70. 高速で走行中は、急ブレーキをかけてできるだけ短い停止距離で止まるように心がける。
71. 図6のような道路を通行する場合、6時から10時の間、原付は図のような場所を走行しなければならない。

図5



72. 標識は規制標識と指示標識の二種類がある。
73. 高速道路を走行中、故障で車が動かなくなったときは、車から出ないで助けが来るのを待つ。
74. 雪道では、前の車が通った跡を通ると、すべりやすくて危険である。
75. エンジンのかかっている自動二輪車を押して歩くときは、歩行者として扱われる。
76. 雨にぬれた道路を走る場合や、重い荷物を積んで走る場合は、空走距離が長くなる。
77. 事故が発生した場所や、負傷者数、負傷の程度、物の損壊の程度など、警察官に報告する必要がある。
78. 二輪車のハンドルの正しい握り方は、手首を下げ、ハンドルを前に押すような気持ちでグリップを軽く持つことである。
79. 自家用の普通乗用自動車などについては1年毎に点検し、必要な整備をしなければならない。
80. 図6の標識がある交差点では、原付は小回りで右折をする。
81. 右折待ちをしている時に、対向車がパッシングをしてきたときは「先に行ってもよい」という合図なので、できるだけ早く右折する。
82. 日常点検は、乗車前に必ず行う必要がある。
83. 登坂車線の通行では、最低速度に達しない速度で進んでもよい。
84. 路面が乾燥していてタイヤが新しい時の車間距離の取り方は、80キロのときは80m以上、100キロのときは100m以上とる必要がある。
85. 長時間の運転で疲労がたまっていたが、急いで目的地に着かなければならないので、無理をして運転をした。
86. 総重量が750kgより重い車を牽引する場合でも、その車が故障車であるならばけん引免許はいらない。
87. 同一方向に車両通行帯が3つ以上ある場合は、最も右側の車両通行帯は追い越しなどのためにあけておき、それ以外の通行帯を速度の遅い順に通行する。
88. 図7の標識は、この先に右方屈折があることを表している。
89. 標識や標示で最低速度が指定されていない、高速自動車国道の本線車道における普通自動車の最低速度は60キロである。
90. ブレーキドラムは水が入り込むと、ブレーキの利きが悪くなる。

図6



図6



図7



危険予測問題 (本免2)

91. 市街地の交差点付近を走行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- ① 曲がった先の道路に何があるか分からないので、十分注意する。
- ② バスは安全運転をしているはずなので、バスに続いて右折すれば確認まではしなくても大丈夫。
- ③ 後続車の自動車にも注意を払う。

92. 夜間の住宅街を20kmで走行中です。どんなことに注意をしますか？



- ① 駐車中の車のドアが急に開くかもしれないので、注意する。
- ② 街灯もなく暗くて危険なので、前照灯を上向きに切り替える。
- ③ 歩行者が急に横断を始めるかもしれないので、注意する。

93. 住宅街を時速20kmで走行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



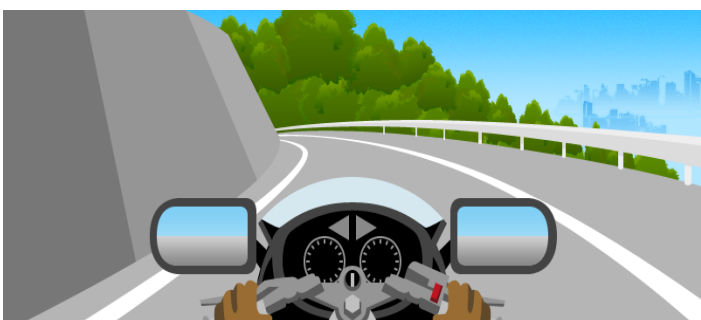
- ① ボールを避けることだけに意識を集中する。
- ② 子供が飛び出してくることを予想して、急ブレーキ、急ハンドルでよける。
- ③ ブレーキペダルに足を乗せかえる。

94. 踏切を横断し、直後に右折しようとしています。どんなことに気をつけますか？



- ① 後ろの車に追突される恐れがあるので、一時停止をせずに通過する。
- ② 踏切内では、脱輪防止のため、やや中央よりを走行する。
- ③ 踏切の警告灯が点滅していないくても、警報器がなっているかどうかまで確かめる必要がある。

95. 二輪車で郊外の山中を走行中です。どのようなことに気をつけますか？



- ① 対向車がガケ側を避けて中央線よりを走行してくるかもしれないので、自車の走行位置に注意する。
- ② どのくらいのカーブの大きさか分からないので、速度を落としてカーブを走行する。
- ① 対向車に早く気がつけるように、できるだけ右寄りを走行する。